

26

ぼ し た し しょう
母指多指症

● 症状 ●

生まれつき母指がふたつあります。通常は、外側の母指が小さいことが多いです。母指は曲げる伸ばすだけではなく大きく広げて大きなものをつかむ働きがあり、その筋肉が付いている箇所により母指が広げられないことがあります。

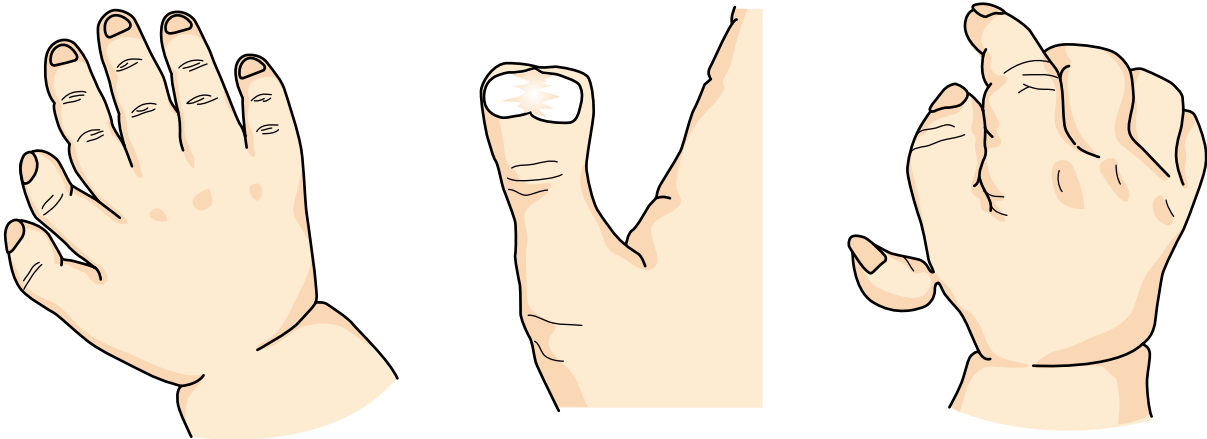


● 原因・病態 ●

手の先天異常の中でもっとも多く発生します。原因はさまざまですが、胎生期に指が分離する時の障害によって母指の重複が起こるとされています。時に他の先天異常との合併もみられます。

● 診断 ●

指が完全に分かれたものや、部分的にわかれたもの、親指の外側に動かない浮遊した母指がついているものなど、いろいろな形態があります。



● 治療 ●

できるだけ、正常に近い母指を作る手術療法を行います。単純に余っている母指を取り除くだけでなく、切除する側の筋肉や腱を残す側の適切な場所に移動させる手術が行われます。手術の時期は個人差もありますが、大体1歳ぐらいで行います。

多指症の形によっては、特別な手術が必要な場合もあります。主治医とご相談下さい。また、お子さんの成長に伴って追加手術が必要となることがあります。

